施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合 ('15RH1(TCF9767)・RH2W(TCF9877)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。 この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため) 特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧をご確認ください。

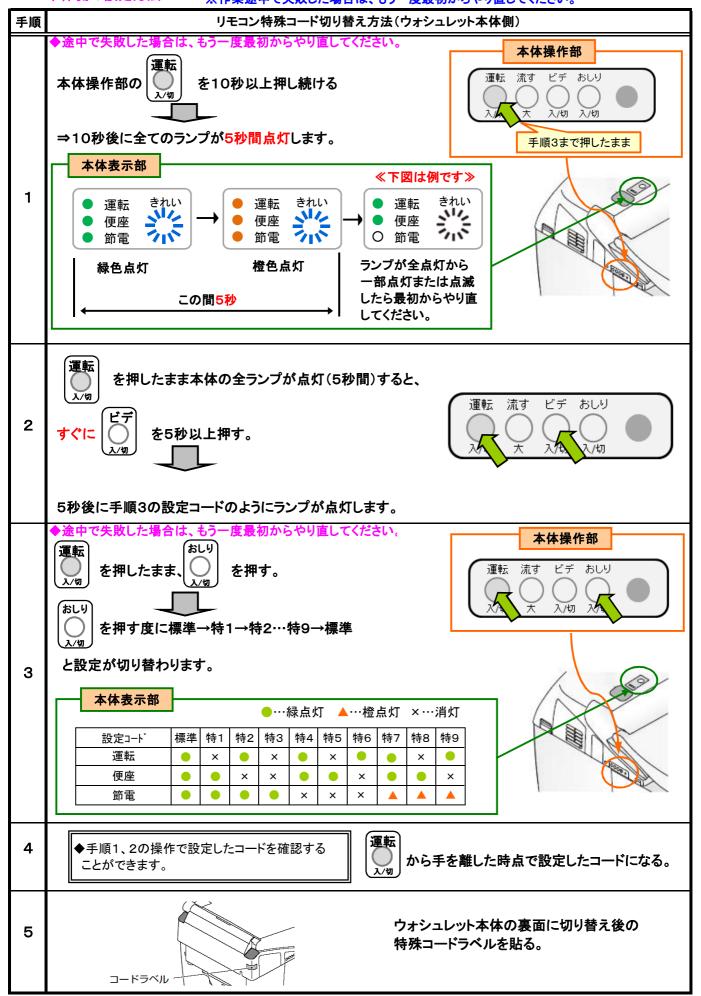
2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(特イ 1) 1	(特 2) 2	正規品	(特 1) 1	(特 2) 2
(特 3)	(タ 特イ 4プ)4	(特 り 5)	(特 3) 3	(タ 特イ 4プ)4	(特 5) 5

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、TOTOメンテナンスへご依頼下さい。(有償) ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。



リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側) 手順 1 ①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 単3形乾電池 2個 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」スイッチを押したままにして、液晶表示が消える ことを確認する。 (電源が入ったままだと切替わらない場合があります。) ご注意!! 電池カバー 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。 2 リモコン裏面のねじ4本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。 ◆裏板を外す際は、上側から外してください。 (下側から外すと外れにくい場合があります。) ご注意!! 基板には触らないようにお願いします。 人体の静電気で破壊するおそれがあります。 3 JP1 ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえない JP2 ように注意して行ってください。 JP3 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入ら JP4 ないように注意してください。 ◎:つながったまま ×:切断 コード 標準 特1 特2 特3 特4 特5 特6 特7 特8 特9 ジャンハ[°]約 0 0 0 0 0 JP1 JP2 0 0 0 0 0 × リモコン基板上の3本のジャンパー線を、 JP3 0 0 0 × 左表にしたがってニッパで切断すること JP4 0 0 0 0 0 0 0 × により特1~特9へ切り替える。 4 ①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 電池端子 ②リモコンに乾電池を入れてリモコンを取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。 「注意!! 裏板を取り付ける前に、電池端子が正しく取り付 けられていることを確認してください。 5 例 切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの 本体のみを操作できます。

- ※1 ウォシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。
- ※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。 (内部精密機器を破壊するおそれがあります。)